

青森県立保健大学附属図書館だより

ラポール *Rapport*

第8号 2007.3

◇ 『ラポール』は、人間同士（学生&教職員&地域住民&県民）のつながりを意味します ◇

Rapport : フランス語で、関係・関連・類似点



目 次

看護専門雑誌の魅力と重要性	看護学科教授 小山 敦代	2
卒業生からの推薦本		3
—新入生へのメッセージ—		
便利で楽しめる図書館へようこそ	看護学科 4年 太田 李沙	4
私と図書館	理学療法学科 4年 河田 江実	4
大学生活と図書館	社会福祉学科 4年 和田 友里恵	5
図書館は宝の山！	大学院博士前期課程 2年 山本 真樹子	5
図書館ホームページ・My CARINを活用する		
	(シリーズ図書館を使いこなそう 第8回)	6
リクエスト (希望購入図書について)・開館時間のお知らせ		8

看護専門雑誌の魅力と重要性

看護学科教授 小山 敦代



私の趣味のひとつは、看護の専門雑誌を読んだり眺めたりすることです。現在は若い頃のように丁寧な読み方はできませんが、それでも毎月10種類以上の雑誌に目を通すことをやめられません。其々の雑誌の特徴からなる特集やトピックス、論文、エッセイ等にザッと目を通し、これは必要と思う箇所に付箋を張りながら、どの雑誌のどこに何が載っているかを頭の中にインプットしていくのです。但し、それよりも先に目を通すのが編集後記です。そこには、方針、編集者の想いや熱意、センスがにじみ出ていて、その雑誌が生きたものとして身近に迫ってくるか否かさえ感じとれます。

看護の道40年、どれだけ多くの雑誌から情報を得、刺激を受け、教えられ学ばせていただいたことかと思うと、どの1冊も大切に粗末にできないのです。

現代の若い皆さんには、昭和40年代初期の看護文献の少なさや入手困難のことなど想像もつかないことでしょう。当時は、コピー機もない時代でしたが、こんなにも急速にコンピューターが一般化して文献検索や文献入手が簡単で便利になるとは想像さえできませんでした。私の新卒時代は、看護界の情報を得る唯一の雑誌が「看護」「看護学雑誌」「看護技術」でしたが、“給料の1割は自己投資を！”という恩師の言葉に影響を受け3誌の購読から始めました。当時は、かすかなインクの香りがする新しい雑誌をめくる時のワクワク感、そして、自分で文献カードを作っていくのが楽しみでした。その後、既刊の「看護教育」、「総合看護」に加え、急速に創刊されていく「看護研究」(1968)、「看護の科学」(1973)、「看護実践の科学」(1976)、「臨床看護」(1975)、「ナースステーション」(1975)、「看護展望」(1976)、「小児看護」(1978)、「クリニカルスタディー」(1980)、「月刊ナーシング」(1981)、「医療」(1985)、「こどもの看護」(1985)等、趣味が高じて次々と購読雑誌が増えていきました。

看護系大学は、1965(昭和40)年には3校、1975

(昭和50)年には9校で、大学化は遅々として進みませんでした。私は30歳の時、看護教員になりましたが、「定年退職する頃には看護系大学が急増するに違いない。そのとき新設大学にこの雑誌を寄贈しよう！」と決心し、毎年ボーナスが入る度に製本していたのです。現在のように文献検索や文献入手が簡単なら、そんなことを思いもしなかったでしょうが、当時の私にしては殊勝な考えでした。

1992(平成4)年の「看護師等の人材確保の促進に関する法律」制定以降、看護系大学は急増してきました。1999(平成11)年、本学の開学に伴い、私は思いもかけずご縁をいただくことになり、約20年間の15種類の製本済み雑誌も寄贈させていただくことができたのです。図書館3階に配架された再製本の雑誌を開くと「寄贈小山敦代」と判を押していただいております。密かな自己満足です。私の若い頃からの想いを快く受けてくださった新道学長はじめ、いつも誰にも親切な図書館の皆様には心から感謝申し上げます。

2006年12月の「看護研究」の編集後記には、「1968年の創刊から通巻200号を迎えました」とありますが、その時代の変化に思いを馳せれば、看護・看護教育、看護研究の発展には感無量です。中には、とても貴重で重要な役割を果たして廃刊になった「臨床看護研究の進歩」(1989-2001)、「Quality Nursing」(1995-2004)等もありますが、雑誌はその時代の看護、看護教育の状況を写す鏡でもあります。

2008(平成20)年には、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の4度目の改正があるようですが、カリキュラム改正時の雑誌記事は特に重要で、看護教育史の資料にもなります。また、近年のカラフルでわかりやすく親しみやすい雑誌も魅力的です。学生向けの「プチナース」「クリニカルスタディー」等は、大いに効果的学習を助けてくれます。8年間お世話になりました本学を退職させていただくにあたり、雑誌の魅力と重要性を残していければ幸いです。

卒業生からの推薦本

吉田浩子さんからの推薦 (平成16年3月卒業)

職種：助産師

所属：青森県立中央病院

書名：赤ちゃんと話そう！生まれる前からの子育て

著者名：池川明

出版社：学陽書房 出版年：2006年

配架場所：2階開架 495 | I33

*胎内記憶や誕生記憶をもとに、お産や子育てにどう向き合うとよいのかを考え直させてくれる、興味深い内容です。

書名：親と子のきずな

著者名：マーシャル H. クラウス [ほか]

出版社：医学書院 出版年：2001年

配架場所：2階開架 493.95 | K12

*母子の愛着形成について書かれてある代表的な1冊。母性看護学や助産学に興味がある人にはぜひ読んでみてほしいと思います。

鷹幸芽衣さんからの推薦 (平成15年3月卒業)

職種：社会福祉研修専任職員

所属：青森県立保健大学

書名：思い出に残る食事

著者名：西村博之

出版社：バジリコ 出版年：2003年

配架場所：3階開架 596 | N84

*皆さんは、家族や大切な人ときちんと向き合うことが出来ていますか。

この本はタイトルのとおり、いろいろな方の「思い出に残る食事」について書いています。大学に入学し、初めての一人暮らしに胸を躍らせている人もいますよね。また、実家にいても、勉強、サークル、バイトなどで忙しくて家でなかなかゆっくり過ごすことが出来なくなる学生さんも多いのでは？

そんなときはこの本を読んで、家族や周りの人と過ごす時間の大切さを、もう一度見つめ直してみてはいかがでしょうか。

堤絢菜さんからの推薦 (平成18年3月卒業)

職種：理学療法士

所属：青森慈恵会病院

書名：生協の白石さん

著者名：白石昌則 [ほか]

出版社：講談社 出版年：2005年

配架場所：3階開架 049 | Sh82

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学生活に対して、さまざまな期待と不安を持っていることと思います。そんな時は、読書して息抜きをしてみるのも良いのではないのでしょうか。

私が推薦する本は、『生協の白石さん』という本です。ベストセラーだけあって、ご存知の方も多いと思います。読んだことのない方は、この本の題名から、一体どんな内容が書かれているのか想像がつかないかもしれません。この本は、大学生協で実施されている、要望や意見を記入した「ひとことカード」に対しての白石さんのコメントをまとめたものです。

保健大学にご入学されたということは、将来、人と関わる仕事を目指しているということだと思います。私は現在、理学療法士として働いていますが、その中で日々難しいと感じることは、患者さんとの接し方、特に相手の話を傾聴し、それに伴う内容の膨らませ方や切りかえしの方法がまだまだ不十分であることです。しかし、白石さんは、どんなに無謀で返答に困ってしまうような内容の質問、意見に対しても、実に誠実にそして視線を変えて、時にはユーモアを交えてコメントされています。その目の付け所や話の切りかえし方は、私には到底真似できないような発言ばかりです。私はこの本から、さまざまな角度から問題を見ることの必要性を考えさせられました。皆さんも、相手に合わせて、自分の考え方、目の付け所を変化させられるような柔軟な発想を持つことを、ぜひ大学生活で身につけて下さい。(私もまだまだですが…)最後に、決して難しい本ではありません。楽しめて、あっという間に読めてしまいます。騙されたと思ってぜひ一度読んでみて下さい。

～新入生へのメッセージ～

便利で楽しめる図書館へようこそ

看護学科 4年 太田 李沙



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学生活を通して、特に実習時や卒業研究に便利な図書館について少しお話したいと思います。

ここ青森県立保健大学の図書館には、看護・医療に関する多くの文献や雑誌、新聞、ビデオ、DVD等が置かれており、必要なものを必要なときに利用できる設備が充実しています。1、2年生の頃には、私自身、図書館の利用がそんなに多かったわけではないので、その便利さをあまり活用できてなかったのですが…。卒業研究を始めるにあたり、図書館の便利なシステムを知ると、もっと早くに気づいていたらと4年生になって実感しました。ぜひ、皆さんには図書館の便利さに早い段階で気づき、どんどん活用して欲しいと思っています。

また、図書館には看護や医療に関する難しいもののだけが置かれているわけではありません。ジョージ・クルーニーの大ファンだった私は、ERシリーズが図書館にあることに驚きました。そして、今やハリウッドを代表するスターとなった、ジョニー・デップとレオナルド・ディカプリオの初々しい名演が見られる「ギルバート・グレイブ」や、不朽の名作「風とともに去りぬ」など意外に洋画も豊富にあり、映画好きの私も何度か息抜きに利用させていただきました。話題の単行本もあるので、読書好きにも楽しめると思います。

勉強の場としてはもちろん、自分なりの楽しい空間をこのキレイで居心地のいい図書館の中で見出してみてください。

私と図書館

理学療法学科 4年 河田 江実



入学から早いもので4年が経ちました。4年の在学中、図書館には大変お世話になりました。本学図書館には、個室やグループ学習室など、用途に合った部屋が様々あります。私も、自分の必要に応じてこれらの部屋をよく利用しました。

まず、個室ですが、一人きりで集中したい時によく利用しました。テスト期間中には、よく利用し、集中して勉強することが出来ました。

次に、グループ学習室です。本学の授業では、学科内でのグループワークだけでなく、他学科とのグループワークが行われています。その際には、図書館で討議する機会が多かったことを覚えています。グループ学習室では仲間と討議をしながら勉強が出来、資料もすぐに調べられるため、順調にグループワークを行うことが出来ました。

図書館のアルバイトをさせていただいたこともあります。書籍のラベル貼りや整頓など、貴重な経験が出来ました。この期間で、図書館職員の方の業務が少しだけ分かりました。ラベルの意味や、書籍の並んでいる順番も詳しく分かり、アルバイト後は、図書館内でのみ書籍を利用する際には、以前に増して番号順に返却する事を心がけるようになりました。もし機会があれば、皆さんもアルバイトを経験してみたらどうでしょうか。

このように、4年の在学中には図書館とも様々な思い出ができました。一生懸命勉強したことも、アルバイトをしたことも全てが良い思い出です。みなさんも図書館をどんどん利用して大学生活を実りあるものに出来るよう頑張ってください。

大学生活と図書館

社会福祉学科 4年 和田 友里恵



大学生活を振り返ってみると、この四年間に図書館は欠かせない場所であったように思います。とは言うものの、1・2年生のころの私はほとんど図書館を利用しない学生でした。そのころの私には図書館が身近な場所ではなく、どこか特別な場所のように思えており、必要以上には立ち寄りませんでした。

しかし、学年が上がるにつれて、授業や課題が専門的になってきて、図書館で調べ物をする機会が増えてきました。何度も足を運んでいくうちに、図書館のことがわかってきて気軽に利用するようになりました。授業の空き時間に新聞を読みに行ったり、授業のない日にも研究個室にこもりに行ったりと気がつけば図書館に行くことはとても自然なことになっていました。

そんな中でも、私が特に図書館にお世話になったのは卒業研究のときでしょう。文献を借りることはもちろんのこと、データベースの利用は私の卒業研究には不可欠でした。私の研究は新聞記事を用いたものであったため、朝日新聞のデータベース「聞蔵Ⅱビジュアル」を毎日のように利用していました。このデータベースが導入されたおかげで私は何とか卒業研究を完成させることができました。

図書館には文献だけでなくたくさんの機能が潜んでいます。残念ながら私はそれらを十分に活用できたとはいえず、少しだけ後悔しています。新入生みなさん！たくさん図書館に足を運んで、図書館を身近なものにしてみてください。図書館を味方につければ、大学生活はより充実したものになると思いますよ。

図書館は宝の山！

大学院博士前期課程 2年 山本 真樹子



学部学生の頃の図書館は、試験の前や課題レポートの資料を探すための場所でした。でも、臨床現場に出ると、学生の頃にもっと本を読んでいたらなーと思いました。幸運にも大学院生となって、まず図書の豊富さと、病院勤務していた時はゆっくり読めなかった図書を読めると思って、嬉しかったです。でも、どこに読みたい図書があるのかわからなくて、時間をとらずにすぐに見つける方法はないかと探していた時、「文献検索ガイダンス」があることを知りました。このガイダンスに参加して、この悩みはすぐに解決されました。図書館の利用のことで何かアドバイスができるとすれば、このガイダンスに参加することをまずあげます。図書館司書の方がとても丁寧に教えてくださいます。特に大学院生にはとっても必要な国内国外の文献の検索の方法などを知ることができます。まさに宝の山の中の宝の探し方を教えてもらおうという感じでしょうか。私はこのガイダンスを入学してすぐに受け、後々早く受けておいてよかったと思いましたので、もし受けてみようかなと思われたら、早い時期に受けることをお勧めします。もうひとつアドバイスできるとしたら、自分の分野と違う本を読むことです。医療保健福祉関係の仕事は、いろいろな職種の方とチームとなって働き、また人間と人間の関わりが、いろいろな面で影響し、そしてひとりひとりの人間としての豊かさを問われてくる仕事だと思います。いろいろな本に触れることも、豊かさを培うひとつの手段だと思います。ぜひチャレンジして自分の宝を探してみてください。

* 図書館ホームページを活用する

図書館ホームページは、各種検索サービスの入り口となっています。蔵書検索やデータベース検索については、マニュアルも用意していますので、参考にしてください。

- ◆ お知らせ
- ◆ 蔵書検索（OPAC）／ 簡易資料検索
図書館所蔵の資料の検索ができます。
- ◆ データベース検索（医中誌、雑誌記事索引、PubMed、CINAHL、聞蔵Ⅱビジュアル）
学内からアクセス可能なデータベースのメニューがあります。
- ◆ 電子ジャーナル
メディカルオンライン等学内からアクセス可能な電子ジャーナルにリンクをはっています。
- ◆ 利用案内
基本的な図書館の利用案内や文献複写申込方法についてのマニュアルが掲載されています。
開館カレンダーで、開館時間の確認もできます。
- ◆ 利用者ログイン（次頁 My CARIN の活用法を参照）
- ◆ リンク集
論文や統計情報などの便利なサイトのリンク集です。
- ◆ ラポール
図書館だより「ラポール」のバックナンバーが読めます。

ここをクリックすると
蔵書検索の検索条件入
力画面が表示されます。

入力ボックスにキー
ワードを入力し、**検索**ボタ
ンをクリックすると、所
蔵検索ができます。

ここをクリックすると、
ログイン ID とパスワー
ドの入力画面が表示さ
れます。
（蔵書検索の検索条件
入力画面の「利用者ロ
グイン」ボタンをクリッ
クしても同様に操作がで
きます）

The screenshot shows the library's homepage with several key areas highlighted by circles and arrows from the text boxes on the left:

- Top Navigation Bar:** Includes links for 蔵書検索 (OPAC), 医中誌, 電子ジャーナル, リンク集, and 開館カレンダー.
- Notice Section (お知らせ):** Contains three bullet points about long-term loans, manual updates, and the new OPAC interface.
- Main Content Area:**
 - 蔵書検索 (OPAC):** A section with a search input box and a "検索" (Search) button, which is the focus of the first annotation.
 - 簡易資料検索:** A link for a simplified search service.
 - 蔵書検索マニュアル:** A link to the search manual.
 - 利用者ログイン:** A link for user login, which is the focus of the third annotation.
- Database Section (データベース):** Lists various databases like 医中誌, 雑誌記事索引, PubMed, CINAHL, and 聞蔵Ⅱビジュアル, each with a manual link.
- Utilization Guide Section (利用案内):** Provides links for student/staff manuals, document reproduction methods, and borrowing procedures.
- Calendar (2007年2月):** A monthly calendar showing library hours: 9:00~21:00 (Mon-Fri), 9:00~16:45 (Sat), and closed on Sundays.
- Link Collection (リンク集):** A section with various links like 論文を探す, 統計情報を探す, and 便利なサイト.

* My CARIN を活用する

My CARIN の画面で、現在借りている資料の一覧、返却期限の確認、予約資料の状況や予約解除が可能です。希望資料申請については、すべてここから入力します。

◆ 開館情報

◆ 貸出・予約状況の確認

予約資料の到着はメールでお知らせしています。

◆ 希望資料申請

図書購入依頼（図書館に配架するもの）、文献複写依頼、現物貸借依頼の申込を行うときは、必要事項を入力してください。図書や文献複写の到着はメールでお知らせしています。

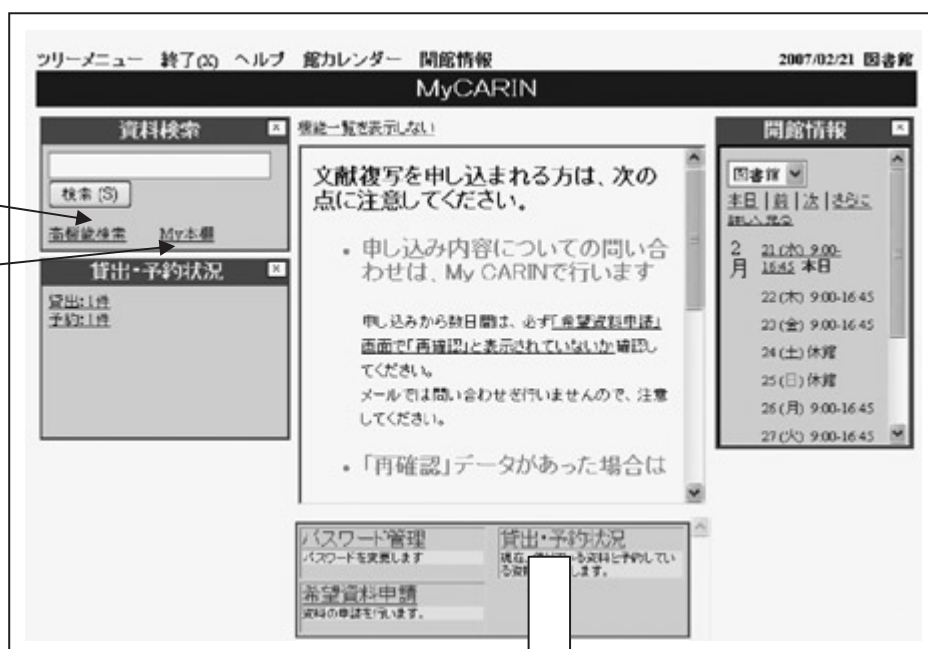
◆ 検索条件の設定

「高機能検索」で、検索条件の初期値の保存などが可能です。

◆ My 本棚機能

蔵書検索結果から資料のデータをピックアップして、保存しておく機能があります。

検索条件の設定
や My 本棚を利用
するときはここ
をクリック



図書の予約方法

貸出中の図書で、予約ができる場合には、検索画面上に「予約」ボタンが表示されます。

①「予約」ボタンをクリック



②ログイン



③「予約登録」ボタンをクリックして予約完了です。



予約解除
はここを
クリック

リクエスト（希望購入図書）について

利用したい図書が図書館にない場合、購入希望を My CARIN、または図書館入り口付近にある「図書購入希望 BOX」より申込むことができます。図書館で検討の上、購入します。図書が入荷次第、学内メールにてお知らせしますので2週間以内にカウンターまでお越しください。

学習、教養のための図書はもちろん、その他の分野も受付けております。レポートや勉強の合間に、気分転換に読みたい本がありましたら遠慮なくお申込みください。

平成 18 年度、リクエスト図書の一部を紹介します。

書 名	著 者 名	請求記号
公共性の政治経済学	宮本 憲一	318 Mi77
性同一性障害の社会学	佐倉 智美	367.9 Sa46
生活支援学の構想	黒澤 貞夫	369 Ku76
食べてやせる魔法のダイエット	伊達 友美	493.125 D44
チーム・バチスタの栄光	海堂 尊	913.6 Ka21
バッテリー（1-6 巻）	あさのあつこ	913.6 A87 1 ほか

※入手不可能なもの（絶版・品切れ等）、ご希望に沿うことが難しい場合があります。

※雑誌・視聴覚資料は受付していません。

※リクエストは本学学生・院生・教員の方が申込み可能となっています。



《開館時間のお知らせ》

無印は9:00～21:00、■は9:00～16:45、□は休館です。

2007年4月							2007年5月							2007年6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
8	9	10	11	12	13	14	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
15	16	17	18	19	20	21	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
22	23	24	25	26	27	28	27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30
29	30																			

2007年7月							2007年8月							2007年9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
8	9	10	11	12	13	14	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
15	16	17	18	19	20	21	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
22	23	24	25	26	27	28	26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
29	30	31												30						

青森県立保健大学附属図書館だより ラポール 第8号 平成19年3月発行

発行：青森県立保健大学附属図書館

〒030-8505 青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1 TEL:017-765-2011

URL <http://www.auhw.ac.jp/>

この印刷物は500部作成し、印刷経費は1部当たり126円です。